

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成27年7月1日

施設名	のいち動物公園	所管課名	土木部 公園下水道課
-----	---------	------	------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県のいち動物公園協会	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設所在地	高知県香南市野市町大谷738		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公園の利用許可及び利用料金の徴収</li> <li>2. 公園の施設及び物品の維持管理</li> <li>3. 公園の設置目的を達成するための企画及び実施</li> <li>4. 動物の飼育と展示</li> <li>5. 種の保存、自然保護、調査研究</li> <li>6. 県民やボランティア等との協働事業の推進</li> <li>7. 公園に関する要望及び苦情の処理</li> <li>8. 緊急対応体制の確立</li> <li>9. 清掃及び植栽管理</li> <li>10. 警備業務</li> </ol>		
施設内容	<p>【公園全体】                      面積: 19.9ha                      開館時間: 9:30～17:00                      休園日: 月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月27日～1月1日                      入園料: 大人460円(年間1,540円)18歳未満・高校生以下無料</p>		
職員体制	正職員: 26名、嘱託員: 10名、契約職員: 5名 合計: 41名		

## 2 収支の状況

単位: 円

		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)
収入	県支出金	336,252,000	381,980,000	381,056,000
	利用料	23,837,030	22,184,220	25,092,000
	その他	175,500	1,408,740	2,407,000
	収入計 (a)	360,264,530	405,572,960	408,555,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	168,700,529	206,862,165	180,600,000
	人件費	194,556,980	204,439,086	227,955,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	363,257,509	411,301,251	408,555,000
収支差額(a)-(b)		▲ 2,992,979	▲ 5,728,291	0

3 利用状況

	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	154,105	147,218	150,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>入園者が多いイベント開催時、ゴールデンウィークや開園記念日に、動物公園の利用動向について面接によるアンケートを動物公園内で実施した。利用者属性や動物公園の改善点等についての調査結果をもとに、ニーズに対応するように努めている。また、来園者から寄せられた意見をまとめ、改善に取り組んでいる。(ゴールデンウィーク、夜の動物公園、開園記念日などでの各種イベント実施。のいちdeZOO婚、視覚障がい者を対象とした「さわる動物園」実施。案内表示の改善。など)</p> <p>○ その他</p> <p>動物公園の今後の運営方針の検討に向けて、第三者機関「のいちの風委員会」において、観光、自然環境、子育て中の親、マスコミなど各方面に関わる委員11名から意見を募っており、自主的な取り組みとして評価できる。</p>		

4 平成26年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<p>利用者サービスの向上のため、日曜と祝日に挟まれた定休日開園や、開園記念日の無料入園を実施しており、評価できる。</p> <p>5月に動物の逸走事故が発生し、未然防止の体制強化を求める。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>事業計画に基づいて適切に行われた。</p> <p>年間企画イベント64、月間企画イベント10、展示企画7の計81企画を実施した。前年度に引き続き、職員提案により「さわる動物園」等3つの新しいイベントを開催し、県立の施設として平等利用性を高める試みや利用者層の拡充に向けた内容のイベントを開催したことは評価できる。</p> <p>また、幼児～小学3年生を対象に、モルモットなど小動物を使った飼育職員による動物解説とふれあい方の講習教室を実施した他、飼育施設見学などの団体レクチャー、出前授業、中学生・高校生の職場体験や学芸員資格の博物館実習等の受け入れ、教育用標本貸出、子ども科学図書館などでの園外講演など、幅広い年齢層を対象とした教育普及活動を継続的に行っている。特に今年は小学校高学年を対象にしたワークシートを作成した他、幅広い年齢層に対応するようにレクチャーメニューを更新した。また、来園者が情報を得る手段としてネット活用の重要性が高まってきているので、旬な情報をタイムリーに発信しているホームページをリニューアルした。</p> <p>近年様々な動物種で新規導入が難しくなっているため、動物の繁殖を強化してきており、前年度は平成9年の飼育開始以来、初めてアミメキリンの繁殖に成功するなど、19種141頭を生育し、動物園の役割の一つである「種の保存」を果たすとともに、教育と集客に繋げている。</p> <p>また、8月10日のハシビロコウ「とと」の急死に伴い、雌のハシビロコウ「はるる」をタンザニアから3月30日に搬入した。</p>
③利用実績	<p>入園者数は、前年度は15万人台を突破したが、26年度は台風のために計5日間臨時休園し、また土日祝日等多くの来園者が見込まれる時に悪天候になることが比較的多く、それらの影響により年間入園者数は14万7,218人で、2年続いた15万人台を下回る結果となった。</p>
④収支の状況	<p>予算執行管理に努める一方、入園者数が前年比で6,887人減少し、入園料も前年比で1,648,050円の減少となり、また、動物の飼料費の高騰等で、1,389,372円の赤字となった。</p>
総合評価	<p>協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が実施されたと認められる。</p> <p>蓄積された動物公園運営ノウハウを生かし、26年度はハシビロコウ1羽をタンザニアから新たに導入することにより希少種の繁殖への試みや話題性を向上させる他、多くの動物を繁殖させ、広報活動や多種多様なイベントを実施するなど、集客に結び付ける体制づくりに努めている。</p> <p>少子高齢化が更に進む社会の現状を考慮し、これからも子供たちだけでなく幅広い年齢層に親しまれる動物公園になっていくことが期待される。</p>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの